

授業概要

福祉心理学は高齢者や子ども、女性、障害を持つ人等、社会の中で弱い立場に置かれがちな人びとに対して適切な支援を行い、あらゆる年齢のすべての人が健康で幸福な生活を送るための学問である。この授業では、様々な福祉現場において生じる問題やその背景、心理社会的課題について解説し、福祉現場における基本的な活動や倫理、必要な支援について講義する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（福祉の現場が抱える様々な問題）
第 2 回	福祉心理学について（社会福祉の歴史や制度と福祉現場における心理支援の必要性）
第 3 回	高齢者の心理学1（老年期の心理的特徴と必要な支援）
第 4 回	高齢者の心理学2（認知症高齢者の理解と支援の実際）
第 5 回	高齢者心理学3（高齢者の家族が抱える問題と他職種との連携）
第 6 回	障害児・者の心理学1（障害児・者をとりまく社会状況と心理的特徴）
第 7 回	障害児・者の心理学2（身体・知的障害児・者に対する心理支援とその課題）
第 8 回	障害児・者の心理学3（発達障害児・者に対する心理支援とその課題）
第 9 回	障害児・者の心理学（精神障害児・者に対する心理支援とその課題）
第 10 回	児童福祉の心理学1（児童虐待の現状とその原因）
第 11 回	児童福祉の心理学2（家族に対する心理支援）
第 12 回	児童福祉の心理学3（児童虐待に対する心理支援の実際）
第 13 回	ひきこもり・自殺予防の心理支援
第 14 回	暴力被害者への心理支援（家庭内暴力や性犯罪の問題とその支援）
第 15 回	社会との関連から考える福祉的支援（生活困窮者や貧困の問題、偏見と差別）
第 16 回	筆記試験

到達目標

- 福祉現場において生じる問題及びその背景について理解し、説明できる。
- 福祉現場における心理社会的課題に対して、必要な支援を立案することができる。
- 虐待についての基本的知識を学び、支援を要する者に対して適切に関わることができる。

履修上の注意

- 本科目は、公認心理師養成の対応科目である。
- 児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待などの問題についてより深く理解するため、日常生活での気づきやニュースを見て考えたことなど、受講生からの積極的な意見を求める。
- 授業内では福祉の問題やその支援についてグループワークを実施するため、自分の意見について発言し、他者の発言に関心を持って聞くなどのグループワークへの積極的な参加が求められる。

予習・復習

- 【予習】各回のテーマについて、関係するニュースや時事問題を自主的に調べること。
- 【復習】リアクションペーパーを通じてその日の授業で学んだことや、福祉的課題についての自分の考えについて振り返りを行うこと。

評価方法

学期末試験 70%、授業内レポート（毎回の授業で提出するリアクションペーパー） 30%

テキスト

テキストは使用せず、必要に応じて資料などを配布する。